

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-226701 (P2005-226701A)  
 【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-033  
 【出願番号】特願 2004-34780 (P2004-34780)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 D 48/02 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 D 25/14 6 4 0 H

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 1 月 22 日 (2007.1.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

本発明によると、惰性走行条件を満たす場合にクラッチを断状態にすることにより、エンジン出力軸とトランスミッション入力軸間の動力伝達を解除する。こうして車両の惰性走行が行われることにより、車両の運動エネルギーがエンジンプレーキによって消費されることを抑え、エンジンの燃料消費量を低減することができる。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 9】

そして本発明の要旨とするところであるが、コントロールユニット 10 は少なくとも車速が所定値 a より高い惰性走行許可条件を満たすか否かを判定する許可条件判定手段と、この惰性走行許可条件を満たす場合にアクセルスイッチ 8 が ON になるとともにブレーキスイッチ 9 が OFF になる惰性走行条件を判定する惰性走行条件判定手段と、この惰性走行条件にてクラッチ 2 を切り離すクラッチ切断手段とを備え、エンジン出力軸とトランスミッション入力軸間の動力伝達を解除して惰性走行が行われる。